



切手 偏見

長寿切手の年輪を読む (3) 国際文通週間切手

広重の浮世絵東海道五十三次・三条大橋の切手で始まった国際文通週間切手(以後、文通週間切手と略記)、今年の文通週間切手で東海道五十三次全五十五図がすべて切手になった。やっと、揃ったという感じである。その間、62年を要した。五十三次完走をとらえてこの間の文通週間切手を整理した。



国際文通の最初の切手
東海道五十三次三条大橋



国際文通週間の記載なく、文通切手と連刷された4年で12種のグリーティング切手のうちの1種

62年間で発行された切手は総数132種類で発行状態は表1の通りであった。1種発行が29年、次に2種発行が8年、3種発行が間を挟んで18年、4種発行が4年、5種発行が1年、6種発行が4年であり、徐々に発行種が増している。また、2006年は国連加盟50周年記念を兼ねたためか2種の発行であった。

文通週間切手と誤解されているのが、1996～99年4年間の12種のグリーティング切手と、4ヶ国とJoint発行された36種の国際文通グリーティング切手である。

文通週間切手はUPU(万国郵便連合)の決定を受けるので国内郵便料金のように国内事情での変更でなく、海外事情を考慮したUPUの決定による海外郵便料金料額であるめに変更が多く生じている。更に、1989年から消



官製はがきの外国郵便利用に発行された差額用切手
2017年発行 広重 日の出に鷹



2018年発行 広重 鴛鴦



1987年発行の唯一150円という料額の特殊切手の文通切手

費税後の官製はがきの海外ポストカード利用には端数料額切手が必要となったため、2018年からポストカード用70円切手に加えて8円、7円という差額用切手が文通週間切手として発行されるようになり発行種類が増加している。海外郵便料金の変化を調べてみると国内郵便料金とは異なる推移を示し、万国郵便連合(UPU)が発展途上国支援のため、一部の国からの郵便料金を安く設定していることが文通週間切手の料額の変化に反映されている。海外郵便料金については米中経済摩擦問題が関連し、トランプ大統領がUPU脱退にまで言及したことで、その料金設定の方法に注目が集まっているように、料額変更の時期が注目される。この料金推移については後に検討する。

次に、切手に描かれたデザイン対象を整理すると、表2の様に浮世絵、絵巻、屏風、障壁画と日本の代表的な美術品が網羅されている。発行は年別に分野が整理されて発行されているが、62年間で2年のみ複数分野の対象がデザインされている。発行年、種類の多いのは当然ながら浮世絵が65%で、絵巻、屏風が各15%にデザインされ、日本文化を広く海外に紹介する日本美術の粋を集めているかと思われる対象である。このことは対象美術品の作者を見ても明らかで表3の様な著名作者名が並んでいる。

作品数の多い広重の東海道五十三次は22年間に毎年1～4作品が発行され、55作品となった。同じデザインと考えがちだが22

表 1. 国際文通週間切手発行内容の推移

年	種	デザイン対象作品	料額	該当郵便料金	
1958年	1	広重・東海道 53 次	24	船便書状	
1959年	1		30		
1960年	1		30		
1961年	1		30	(船便はがき)	
1962年	1		40	船便書状	
1963年	1	40			
1964年	1	北斎・富嶽 36 景	40		
1965年	1		40		
1966年	1		50		
1967年	1		50		
1968年	1		50		
1969年	1		50		
1970年	1		広重(3代目)・駅通寮	50	船便書状
1971年	1	伊藤芳郎・鉄道馬車図	50		
1972年	1	広重(3代目)・永代橋真景	50		
1973年	1	群鶏図	50		
1974年	1	松に鷹	50		
1975年	1	孔雀葵花図 屏風	50		
1976年	1	紙本墨画淡彩鶯鴉図	100	航空書状第 1 地帯	
1977年	1	花鳥図屏風	100		
1978年	1	妙心寺 天球院障壁図	100		
1979年	1	深山大沢図屏風	100		
1980年	1	鶴図	100		
1981年	1	梅に遊禽図	130		
1982年	1	人形・遊楽	130		
1983年	1	人形・地久	130		
1984年	1	人形・瀟	130		
1985年	1	人形・清泉	130		
1986年	1	人形・大森土産	130		
1987年	2	人形・堀柳女 宴の花	130 150		航空書状第 2,3 地帯
1988年	2	国政・豊国・役者絵	80 120		航空書状第 1,3 地帯
1989年	2	源氏物語絵巻	80 120		
1990年	2	絵巻 鳥獣人物戯画	80 120		
1991年	2	絵巻 伴大納言	80 120		
1992年	2	絵巻 平治物語	80 120		
1993年	2	絵巻 三十六歌仙	80 120		
1994年	3	士女遊楽図屏風	90 110 130	航空書状第 1,2,3 地域	
1995年	3	松浦, 正月, 月次風俗屏風	90 110 130		
1996年	3	北斎・富嶽 36 景	90 110 130		
1997年	3	広重・東海道 53 次	90 110 130		
1998年	3	若冲 雪中鶯鴉図, 綵集絵	90 110 130		
1999年	3	北斎・富嶽 36 景	90 110 130		
2000年	3	広重・東海道 53 次	90 110 130		
2001年	3		90 110 130		
2002年	3		90 110 130		
2003年	3		90 110 130		
2004年	3		90 110 130		
2005年	3	90 110 130			
2006年	2	国連加盟 50 記念デザイン	90 110	航空書状第 1,2, 地域	
2007年	3	広重・東海道 53 次	90 110 130	航空書状第 1,2,3 地域	
2008年	3		90 110 130		
2009年	3		90 110 130		
2010年	3	現代絵画 美人画	90 110 130		
2011年	3	現代絵画 美人画	90 110 130		
2012年	3	現代絵画 美人画	90 110 130		
2013年	4	広重・東海道 53 次	70 90 110 130 8 差額切手 7 差額切手	航空はがき 航空書状第 1,2,3 地域	
2014年	4				
2015年	4				
2016年	4				
2017年	5				
2018年	6				
2019年	6				

表 2. デザイン対象美術品の状態

分野	回	種	内 容
浮世絵	35	86	広重・浮世絵
			北斎・浮世絵
			広重(3代目)・浮世絵
			伊藤芳郎・浮世絵
			歌川国政・浮世絵
絵巻	5	10	絵巻 三十六歌仙
			絵巻 四季花鳥図巻
			絵巻 鳥獣人物戯画
			絵巻 伴大納言
			絵巻 平治物語
屏風	5	9	屏風 月次風俗図屏風
			屏風 四季草花図屏風
			屏風 士女遊楽図屏風
			屏風 松浦屏風
			屏風 正月風俗図屏風
人形	6	7	人形
美人画	3	9	現代日本画 美人画
襖絵	3	3	群鶏図
			妙心寺 天球院障壁 妙心寺天球院襖絵
掛軸	2	2	松に鷹 紙本墨画淡彩鶯鴉図
絵	1	3	綵集絵図
杉戸絵	1	1	鶴図 大覚寺杉戸絵
記念デザ	1	2	国連加盟 50 記念



表3. デザイン対象の作者と作品数

作者	作品数
安藤広重	71
葛飾北斎	10
伊藤若冲	4
尾形光琳	1
上村松園	3
伊東深水	3
鍋木清方	3
広重(3代目)	2
狩野山楽	2
常盤光長	2
伊藤芳邨	1
円山応挙	1
歌川国政	1
渡辺始興	1
雪村	1
長谷川等伯	1
与謝蕪村	1
歌川豊国	1
作者不明	16
人形作家	7

年間によく見るとデザインに図1に示すような違いがみられる。発行が中断していた間に"NIPPON"表示が始まっていて、東海道53次が再開した1997年の亀山宿の切手からすべての文字表示"日本郵便"、"国際文通週間"、"INTERNATIONAL LETTER WRITING WEEK"、"西暦"が縮小されていることが大きく異なる点である。以後、文字フォントに種類、サイズに違いがみられる。2001年発行原宿の切手は原画に合わせて、唯一、枠外にデ

ザインを残して異なる感じをうける。このように細かくみると2014年発行江尻宿の上辺の文字様の汚れと思うものが表示され、原画の選択に興味を覚える。



図2. 2014年発行江尻宿の上部の汚れの存在

五十三次切手で気になるのが発行順である。よく見ると宿場の順と発行順とで行程を理解できるのは最初の三条大橋からの5年である。京から東へ桑名・蒲原・箱根・日本橋へ早飛脚の5年で五十三次の発行を終わらせる発行予定だったのでと、考えたくなる。広重の絵はハガキ用切手の花鳥図12枚の他に2枚ある。その1枚が紛らわしい。1997年に発行隸書版東海道五十三次・程ヶ谷宿が発行されており、うっかりすると間違っ

てしまう。更に、この程ヶ谷は北斎・富嶽三十六景程ヶ谷として1964年に文通週間切手になっており、文通週間切手に程ヶ谷を描いたものが3枚存在する。(蛇足だが、この程ヶ谷、3代目広重が描いた絵で電信創業100年記念切手となり、北斎・程ヶ谷は2011国際切手展切手にもなり5種の切手に描かれた土地となっている。)

このように広重の東海道五十三次を中心とした浮世絵と代表的な美術品を対象にデザインされ、外国郵便料金の料額の切手が文通週間切手として62年間発行されてきたことは文通をする者、美しい切手が貼られた手紙を受け取る外国人にその発行目的を果たしてきたと考える。しかし、海外の人と文通を始めるきっかけを与え、文通の魅力を広く伝えるという啓発、宣伝という目的の意味からは検討されてしかるべきであったろう。この意味から外国の文通週間切手のデザインを見ると意外と発行は少ない。1957年UPUが設けた国際文通週間、ドイツ、アルゼンチン、ソ連などがその年に記念切手を発行しているが、その後の発行は少なく毎年発行しているのはタイぐらいであろうか。それらの切手はお決まりの



図1. 国際文通週間切手のデザインの変化



隸書版 程ヶ谷 保永堂版 程ヶ谷
国際文通で2種発行された広重 程ヶ谷の宿



北斎 程ヶ谷
富嶽三十六景



3代目広重保土ヶ谷
電信操業100年



1957年発行 国際文通週間設定記念切手
ソ連 アルゼンチン ドイツ



インドネシア チリ パプアニューギニア



トルコ 台湾 タイ

ハト、手紙、地球をデザインしたものである。2008年EU統一テーマ"Letter Writing(手紙、お便り、文通の広い意味か)"で64の国、地方で発行された140種余りの切手を見ても捉えきっていないようだ。来年、8年ぶりに東海道五十三次から開放される文通週間切手、富嶽三十六景の残り二十景をデザインするのかもしれないが、ぜひ海外との文通をイメージする斬新なデザインの国内郵便料金切手の発行も期待したい。もっとも、もはやネット、MAIL、SNSの時代、魅力ある切手を貼った手紙での文通の時代ではないかもしれない。

最後に、文通週間切手の料額について検討したい。過去の料金の推移はからみると図

であろう。その中の1961年発行箱根宿の30円は10月4日発行であるが、その3日前の10月1日に料金が40円になり、単貼では船便書状に貼れず、ハガキにしか利用できなかったという年もあった。1976年以降は航空便の料金に対応した料額になり、2013年から70円切手加わり、すべての基本重量郵便物に利用できる切手の発行になった。しかし、8、7円切手は面白いことを考えさせる。隣町宛ハガキ63円とブラジル宛ハガキが70円、隣町宛書状84円とインド宛書状が90円と、このままだと国内料金と差がなくなることふと考えさせられる。逆に、日本へのハガキ料金はインドネシア54円、マレーシア43円、バト

2, 3の通りであり、国内料金と異なり変動が大きく、しかも減額が複数回も見られ、国内事情だけでは決められない料金決定であったことが示されている。このグラフの数値に文通週間切手の料額を照合すると、表1の様に1種発行の29年間のうち18年は現在では意識しない船便書状の料額であった。文通が船便を主に利用されていたの

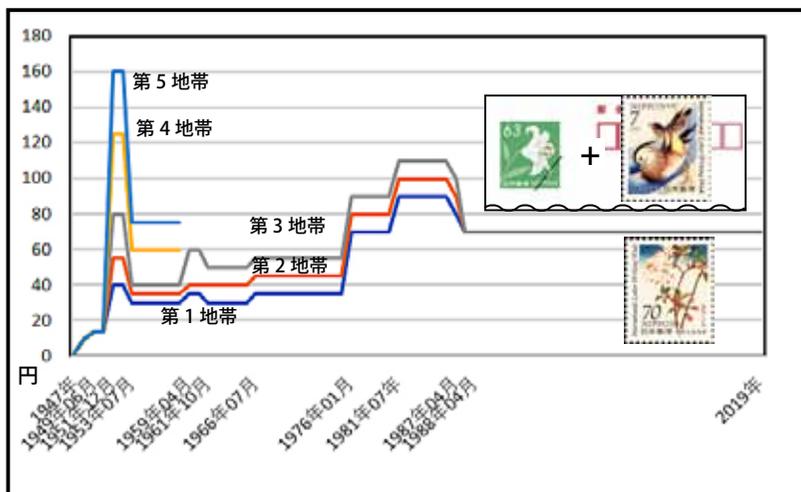
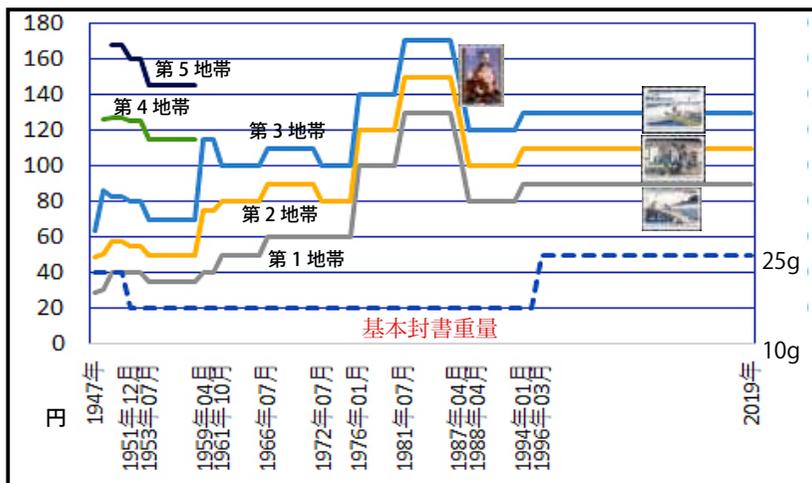


図2 海外郵便 葉書料金の推移



自然をデザインした国立公園、観光切手が利用可能切手として発行され、現在より使用切手の選択環境が豊かであったと考える。航空便になって航空切手が4シリーズ（キジ、五重塔、立山、大仏）が発行されて切手の選択に悩む期間は少なかったと考えるが、文通週間切手が航空便料金料額になった1976年以

図3. 海外郵便 封書料金の推移

は33円となっている。大量のハガキ、年賀状などであれば、国内宛をアジア諸国から投函すればかなりの経費節減になる。はがきでなく、このような問題が額のかさむ小包にも波及していることなど、米国のUPU脱退などの抱える問題が見えてくる。

次に、文通週間以外に海外郵便に利用できた切手を整理してみると表4の通りで、文通週間切手に替えて封書に利用できる特殊切手の発行は非常に少ない。船便(平面路)時代は



表4. 普通に購入、使用していた海外用切手の存在

表4. 文通週間切手に変えて使用できた特殊切手の発行数

対象	文通週間切手料額	期間	種	左記期間発行特殊切手画像一部
船便葉書 参考記載	(14円)	1950/9/1 1959/4/1	5	
船便書状	(16円)	1948/9/1 1949/6/1	2	
船便書状	24円	1949/6/1 1959/4/1	20	
船便書状	30円	1959/4/1 1961/10/1	1	
船便書状	40円	1961/10/1 1966/7/1	3	
船便書状	50円	1966/7/1 1976/1/25	27	
航空書状	100	1976/1/25 1981/7/1	9	
航空書状	130	1981/7/1 1987/4/1	無し	
航空書状	130	1994/1/24 現在	無し	
航空書状	110	1987/4/1 現在	7	
航空書状	80	1988/4/1 1994/1/24	無し	
航空書状	90	1994/1/24 現在	25	グリーティング切手 19

降は文通週間切手以外に各料額の特
特殊切手を探すとその数の少ない
ことに驚く。特に、内陸郵便料額
でもある90円切手以外は少なく、
110円切手は2001年以降は発行さ
れず、130円切手は文通週間関連
切手以外全く発行されていない。
シール切手のバカげた発行を考え
る時、その数%でも発行されれば
投函時の楽しさも増すかと考える
。Mailの時代、文通は減少する
とはいえ、東海道完走を機に年に3
回程度、海外郵便用の美しい特殊
切手の発行を期待するのは無理だ
ろうか。 編集子

*本記事は日専2008年版を参考にしま
した。非常に複雑な内容で理解に苦慮
し、誤りを危惧します。1951~53年航
空書簡と葉書の料金が全地域同一など
出版元に確認を要しました。

2008年EU統一テーマ "Letter Writing" の切手

Letter Writing の意味が手紙、おたより等、文通とは決めかねるが、それぞれの国でのデザインのバラエティーが楽しめる。文通を連想できるのはあまり無いが。

